

皮膚科この1年

皮膚科医長 伊藤 康 裕

診療体制

前年から引き続き伊藤康裕、池田雄一の2名で行っています。例年通り月1回旭川医科大学皮膚科から飯塚 一教授が外来診療に来ています。

外来診療

外来は医師2名、看護師2名、8月から受け付けに看護助手1名が加わり対応しています。当院では初めて受け付け専門に看護助手が配置されたのですが、患者さんの対応も丁寧で好評です。1日平均外来患者数は約120名で、昨年とほとんど変わりありません。

病棟診療

この1年の入院患者は122名で増加傾向にあります。

内訳は蜂窩織炎などの細菌感染症が16名、带状疱疹、麻疹などのウイルス感染症が16名。皮膚腫瘍は良性腫瘍が21名、表皮内癌が9名、悪性腫瘍が8名でした。また熱傷が9名、凍傷が2名、褥瘡が4名でした。今年は特に蜂刺症によるアナフィラキシーショック9名が即入となり、全員翌日には退院となりました。膠原病は強皮症が4名でした。

手術は167例で、そのうち麻酔科管理は21例でした。それ以外に外来で小手術、皮膚生検、陥入爪手術を115件行っています。

その他

最近の皮膚科のトピックスと言えば、レーザー治療やケミカルピーリング等の美容皮膚科になります。この地域でも需要はかなりあり、今後は美容の領域にも力をいれていきたいと考えています。

平成15年手術内容

皮膚腫瘍単純切縫術	120例
腫瘍切除+皮弁形成術	15件
デブリードマン+皮弁形成術	4件
デブリードマン+網状植皮術	5件
腫瘍切除+全層植皮術	5例
拡大切除+全層植皮術	2件
拡大切除+分層植皮術	1例
CO2レーザー照射術	9例
陥入爪手術	2例
筋生検	1例
その他	3例